

P T A だより

No. 134

北海道函館水産高等学校

 北斗市七重浜 2 丁目 15 番 3 号
 P T A 広 報
 TEL. 49 - 2411


平成 29 年度入学式 (H 29.04.08)



『アンガーマネジメント』

P T A 会長 鍋谷 直子

青空がとても眩しく感じられる頃となりました。本年度も、早いもので 4 ヶ月が経とうとしています。

保護者の皆様には、P T A 活動に對しまして日頃から多くの御理解と御協力を頂いておりますこと、また、先生方には様々な場面での子供たちの指導はもろろんの事、P T A 活動の活性化のためにも積極的に取り組んでいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

最近、アンガーマネジメントという言葉が耳にすることが多くなりました。喜怒哀楽に代表されるように生来人間は様々な感情を持っています。感情があるからこそ人間は行動を起こし、感情によって目的が生まれ、その目的に向かって行動します。感情は行動の原動力にほかなりません。ストレス社会といわれる現代で、怒りに焦点を当てると、私たちは人々の中で暮らすという社会的側面があり、動物のように怒りだけで行動すれば社会が成り立ちません。そこで、ままならない現実に向きあった時に現実を受け止め、考え方を整理するのがアンガーマネジメントです。①深呼吸する②数を数える③その場から離れる④思考を停止してみる⑤有酸素運動(身体リラクゼーション)などの方法があるそうです。なるほど

なあと自分の環境を振り返ってみました。家庭や職場、学校など私たちは絶えず人と接してはいますが、子育てが一番「ままならない現実」に直面していたように思います。未熟な親だったなあとという反省と共に、あともう少し頑張ってみようという前向きな気持ちになりました。また、変化の激しい世の中だからこそ、ネガティブな感情を自身の意識でコントロールするというスキルが求められているのかなと感じました。

5 月に、水産高校でも講師を招いてアンガーマネジメントの講演が実施されました。高校生の皆さんも、これからの長い人生でままならないことに腹をたてる場面もあると思いますが、今回の講演を生かし、上手に生きる術を身に付けていって欲しいと思います。高校生になり子供たちはいつそう自立し親の手を離れていきますが、その時その時の考え方を整理しながら、人生の少し先を歩く先輩としてよく聞き向き合う事で、子供の支えのひとつになればと思います。

9 月には P T A 体験乗船や北鳳祭、10 月には P T A 研修旅行があります。これらの取組にたくさんのお参加、御協力をいただき P T A 会員の交流も広め深めていけるようよろしくお願い申し上げます。

昨年度進路状況から

進路指導部主任 西島 正秀

昨年度の進路状況は、卒業生154名中、就職希望者106名、内定者104名、進学希望者47名、合格者47名、その他1名でした。昨年度は例年とは違い3月末まで未内定者の指導を行いました。進路活動を行っていく上で、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげでほぼ100パーセントの内定・合格率を出すことができました。ただ、そこに辿りつくまでに生徒自身の面接を始めとする受験に向けてのひた向きな努力があったことは勿論のこと、多くの先生方が携わり、生徒の進路実現に向け指導をいただいた事は言うまでもありません。

就職に関して言えば、104名の就職の中で、道外（主に関東）に内定した生徒は29名でした。今年度も約3割に近い生徒が道外に出ました。その背景にあるものは多くの企業で本校卒業生がしっかりと函水生としての自覚と責任を持って頑張ってくれたからです。このように道外で働ける環境が整っていることが、本校生徒の道外に目を向けることを可能にしていると確信します。長い年月をかけ築いた企業との信頼関係を継続し、企業の期待に応える人材を学校で育て、そして送り込まなければならぬという使命感を持って今後とも生徒の指導に当たります。

本校は、従前より道外企業、管内企業を訪問して採用計画、卒業生の動静、

企業が求める人材等を伺う機会を作っています。その際、採用担当者の方からのコメントで共通していることは、まず学校の欠席が少ないこと。特に2桁の欠席では厳しいとのこと。また元気があって笑顔を絶やさないこと。コミュニケーションのとれる人。志望動機を述べた際、その企業への情熱が感じられる人などでした。

1・2年生諸君、学校は休まないように、そして部活動（運動部）への積極的な加入・参加が進路に優位に働くことを忘れずに。

3年生諸君は9月16日から企業試験が開始されます。自分の将来のことなので自分から積極的に行動してください。進学希望の生徒も保護者と十分に話し合い、早めの準備をし、将来の進路を見定めて進学先を決定してください。

言葉の大切さ

生徒指導部主任 木村 剛

言葉の大切さは昨今の携帯電話普及率からより重要なワードとなっているように考えられる。SNS（ソーシャルネットワーク）を利用した生徒同士の繋がりに良い点もあれば悪い点もある。例えばメリットとして、実際の友人と早急にネット上で繋がれる・同じ趣味や嗜好を持つ者同士で繋がることができる・あまり連絡を取らない友達でも現状を多少は把握できるなどが

あるし、逆にデメリットは、匿名制でない場合は誹謗中傷が多くなりやすい・携帯中毒になりやすい・自分の投稿が他人に誤解されてしまうことなどがあ

これらのことについては、一般社会で生活している我々大人もメリット、デメリットをしっかりと把握し、子供たちにどのように納得させてこのことを理解させるのか、まだまだ我々大人たちが考える必要がある。

発達段階の子どもに道徳教育として、「嘘をつくな・約束を守れ・命を大切にしろ・食べ物や物を粗末にするな・ものを大切にしろ・人の物を盗んではいけない・人を傷つけてはいけない・人の悪口を言うな・弱い物いじめはするな・法を犯してはいけない・年寄りはいたわれ・困った人を見たら助ける・友達や親兄弟を大切にしよう・間違ったことをしてはいけない・卑劣なことはずるな・勇気を持って・自分のことは自分でしろ。」と教える。

そのような教えを受け、自ら考え経験し、培ってきた事によって自然と正しい判断の下で行動できるが、現在は一昔前と違い考えて行動する時間の経過が極端に短くなってきたり、ボタン操作一つでモラルの低さが現れやすい環境にある。

学校に寄せられるSNSに関わるトラブルやネットパトロールによる報告件数は年々増加傾向にあり、生徒には、その先にある生徒自身の未来にも様々な影響を与えることを理解させていかなければならないと考える。

「ペン」は剣よりも強し」という言葉の意味は、言葉が時として剣（武器）よりも人を傷つけることがあり、逆に言葉で人の心を救うこともあるということである。

また日ごろ何気なく使っている言葉の語源をひもとくと、「ありがとう」は昔の主君から家臣へ褒美を与えられたとき「このようなことは有り難きことでございます」と言ったところからきていたり、「こんにちは」は「今日（こんにち）は、ご機嫌いかがですか？」からきていたり、「おはようございます」は「今朝は、お早うございますね」（今朝は早くからお出かけですね）、また別れの挨拶をする「さようなら」は「左様ならば、これで失礼いたします」の「左様なら」だけが残ったものであると伝わっている。

言葉の持つ本来の意味の大切さを理解し、人との会話を通したコミュニケーションはいつの時代でも必要なことであり、スマートフォンによるボタン操作でのコミュニケーションとは格段に人との繋がりが違うものであると私は考えている。

学校において休み時間など生徒同士がお互いの言葉で話し合っている姿を見てみると、この景色は、今、私達大人が考えるべき望ましいコミュニケーションの在り方であって、その中にもスマートフォンが入ってきたら生徒たちはどう変化していくのか不安も多く、まだまだ生徒たちに言葉の大切さを教え伝えていくことが、我々大人たちの務めであると私は考えている。

今年度の役員他

4月16日にPTA総会が開催され、左記のように平成29年度の役員が決定しました。

(会長) 鍋谷 直子
(副会長) 紺野 静一

(書記) 石川 由美

(書記) 青山美由紀

(会計監査) ミックナイト 高村 雅子

5月12日に第一回評議会を開催し、各種委員会の活動内容を決定しました。

【学級委員会】

○学級PTAのまとめ役としての活動を行う。
○学年委員会、学科委員会、学級代表として出席する。ただし、学年委員会や学科委員会は定例会ではなく、必要に応じて開催する。

【研修委員会】

○4学科の協力を得て、7月30日(日)に学校開放講座を計画、実施する。
○実習船「若竹丸」の体験乗船を9月3日(日)に計画、実施する。
○北鳳祭のPTA評議会催事を9月23日(土)に計画、実施する。
○研修旅行を10月22日(日)に計画、実施する。
○11月下旬に高P連道南支部研修会に動員がある場合参加する。

今後の主なPTA活動

- ▲ 7月13日(日) PTA懇談会
- ▲ 7月30日(日) 学校開放講座
- ▲ 8月22日(火) 研修委員会
- ▲ 9月 3日(日) 実習船「若竹丸」体験乗船
- ▲ 9月 8日(金) 北鳳祭参加者打合せ
- ▲ 9月23日(土) 北鳳祭(学校祭)への参加
- ▲ 10月22日(日) 研修旅行「松前・江差方面、日帰り」
- ▲ 11月下旬 高P連道南支部研修会
- ▲ 12月25日(月) 「PTAだより」第135号発行
- ▲ 3月 1日(水) 「PTAだより」第136号発行
- ▲ 3月16日(金) PTA第2回評議会



宿泊研修(6月8日・9日)
1泊2日でのクラスメートとの楽しい時間、クラスの絆が深まりました。



壮行式(5月10日)
3年生にとって最後の大きな舞台、高体連に向けて力強く抱負を語りました。



入学式(4月8日)
130名の生徒が、高校生活のスタートを切りました。

写真で見る「1学期の主な生徒の活動」



インターンシップ(6月8日・9日)
来年の進路活動に向けて、貴重な経験ができました。働くことの大変さを実感できました。



芸術鑑賞(6月22日)
今年は「津軽三味線」を鑑賞しました。演者の技術の素晴らしさに感激しました。



体験乗船(6月19・20日)
今年は天気も良く、最高の乗船日和でした。魚もたくさん釣れました。

新任紹介



黒島 裕司 先生
(くろしま ひろし)

(前任校) 北海道教育庁学校教育局高校教育課

(出身地) 釧路市

(趣味) 旅行・カラオケ

(一言) 本校での勤務は5年ぶり2度目になります。久しぶりに生徒の皆さんと接し、高校生ならではの清々しさや爽やかさを感じています。保護者の皆さまには、学校・地域が更に連携を深め、生徒の心身の成長を支えていきたいと思っておりますので、今後とも変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い致します。



芹澤 良通 先生
(せりざわ よしみち)
(機関工学科)

(前任校) 北海道小樽水産高等学校

(出身地) 北見市

(趣味) ウォーキング

(一言) 本校勤務は三度目となります。函水の伝統である礼譲親和の気風、勤労愛好の精神をもって日々取り組んで参ります。よろしくお願ひします。



北野 裕之 先生
(きたの ひろゆき)
(英語)

(前任校) 北海道森高等学校

(出身地) 室蘭市

(趣味) 百均巡り・犬の散歩

(一言) 今まで普通科、総合学科の高校しか勤務したことがないので、50代の私の体がこの新しい環境についていけるか心配しているところです。本校では、C2の副担任と1年(F1、C1)、2年(C2、E2)、3年(C3選択)の英語を担当します。部活動は野球部です。一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



中野 紀彦 先生
(なかの のりひこ)
(水産食品科)

(前任校) 北海道厚岸翔洋高等学校

(出身地) 岐阜県可児市

(趣味) ニホンイシガメの飼育繁殖

(一言) 岐阜県で育った中野少年は、川で魚を獲り、山や草むらで昆虫を獲り、庭で、ニワトリや小型の鳥を育て、また、野菜や果実を収穫してきた。私は、生物に関わり育ってきた経験を、中でも水産(魚介類)の愉しさを、小さな命の大切さを生徒の皆さんに伝えたい。よろしくお願ひします。



山口 由起 先生
(やまぐち ゆき)
(普通科・英語)

(前任校) なし

(出身地) 札幌市

(趣味) 楽器・カラオケ

(一言) 初の勤務校が水産高校という新鮮な環境で、戸惑いながらも日々様々なことを学ばせていただいております。生徒たち・先生方のエネルギーに感化されながら、自分らしく仕事ができるよう努力していきます。よろしくお願ひします。



加藤 省伍 先生
(かとう しょうご)
(海洋技術科)

(前任校) 北海道小樽水産高等学校

(出身地) 北斗市

(趣味) 釣り

(一言) 小樽水産高等学校海洋漁業科で3年、小樽水産高等学校古平栽培漁業実習場で4年勤務し、4月から母校の函館水産高等学校に赴任しました。母校のために尽力していきたいと思っております。よろしくお願ひします。

横断幕と掲示板が設置されました

6月8日本校同窓会協賛の下、本校の入口脇に函館水産高校をイメージした横断幕と、学校の活動を紹介する掲示板が設置されました。横断幕は、水産高校らしく鮮やかなブルーの海を背景に校名と学科名が紹介されています。また、掲示板では、部活動やコンクールを中心に、生徒の活躍を紹介しています。内容は随時更新されますので、来校される機会がありましたら、是非ご覧ください。

